

事業所名

一般社団アクティビティいわて アクティブキッズ2
(児童発達支援)

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

17日

法人（事業所）理念		発達の問題の有無にかかわらず、遊びや運動、社会的な体験や交流を促す。		
支援方針		遊びを通し、利用児の身体やこころの発達、成長を促し、主体性、社会性、社会適応力、コミュニケーション力が高まるように支援する。		
営業時間		8:30～17:15	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	利用児の心身の状態を確認し、基本的な生活習慣が獲得できるように援助を行います。 また、利用児の特性に応じた時間や空間に配慮し、様々な遊びを通じた学びが促進されるように環境を整えて支援します。		
	運動・感覚	運動機能（体幹、上下肢、口）、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な身体感覚・感触に触れ、運動・感覚の成長を支援します。		
	認知・行動	ひとりひとりの認知特性を理解し、適切に動けるように人や時間、空間等の環境設定を行い、適切な認知と行動の習得（感覚の活用、状況把握・理解、概念の形成等）に向けて支援をします。		
	言語 コミュニケーション	言葉を聴いて理解し考える力・表現する力等の基礎的な言語能力や他者とのやり取りを通じたコミュニケーション能力を獲得できるように支援します。 また、吃音症状のある利用児に対しては、専門の職員が対応し、症状の軽減に向けて支援します。		
	人間関係 社会性	他者との安定した関わりの形成、遊びを通じた社会性（順番、ルール等）の発達、行動調整にアプローチすることで、仲間づくりや集団への参加に必要なスキルを身につけられるように支援します。		
家族支援	養育に関する困りごとに対して相談援助を行い、利用者の発達上のニーズを踏まえて支援します。 また、心理検査や言語検査等の各標準化された検査を利用児に応じて実施し、発達の状態を確認しながら、助言します。	移行支援	将来の具体的な移行を見据えたアセスメントを行い、進路や移行先の選択についての情報連携、相談援助を行います。	
地域支援・地域連携	利用児が通う他事業所や保育所等、関係機関との情報連携、相談援助を行います。	職員の質の向上	事業所内での職域別勉強会、ケース検討会を実施する。 また、事業所として外部機関の研修の参加や資格取得を促し、職員の質向上を図っています。	
主な行事等	なし			

事業所名

一般社団アクティビティいわて アクティブキッズ2
(放課後等デイサービス)

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和 7 年

3 月

17 日

法人（事業所）理念		発達の問題の有無にかかわらず、遊びや運動、社会的な体験や交流を促す。		
支援方針		様々な活動を通して、利用児の身体やこころの発達、成長を促し、主体性、社会性、社会適応力、コミュニケーション力が高まるように支援する。		
営業時間		8:30～17:15 ※利用は、学校終了後や休学日の希望の時間帯	送迎実施の有無	あり (なし)
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	利用児の心身の状態を確認し、基本的な生活習慣が獲得できるように援助を行います。 また、利用児の特性に応じた時間や空間に配慮し、様々な活動を通じた学びが促進されるように環境を整えて支援します。		
	運動・感覚	運動機能（体幹、上下肢、口）、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な身体感覚・感触に触れ、運動・感覚の成長を支援します。		
	認知・行動	ひとりひとりの認知特性を理解し、適切に動けるように人や設備等の環境設定を行い、適切な認知と適切な行動の習得（感覚の活用、状況把握・理解、概念の形成）に向けて支援をします。		
	言語 コミュニケーション	言葉を聴いて理解し考える力・表現する力等の基礎的な言語能力や他者とのやり取りを通じたコミュニケーション能力、学習の定着状況に応じた読み書き能力の獲得ができるように支援します。 また、吃音症状のある利用児に対しては、専門の職員が対応し、症状の軽減に向けて支援します。		
	人間関係 社会性	他者との安定した関わりの形成、遊びを通じた社会性（順番、ルール等）の発達、自己理解、行動調整にアプローチすることで、仲間づくりや集団への参加に必要なスキルを身につけられるように支援します。		
家族支援		養育に関する困りごとに対して相談援助を行い、利用者の発達上のニーズを踏まえて支援します。また、心理検査や言語検査等の各標準化された検査を利用児に応じて実施し、発達の状態を確認しながら、助言します。	移行支援	将来の具体的な移行を見据えたアセスメントを行い、進路や移行先の選択についての情報連携、相談援助を行います。
地域支援・地域連携		利用児が通う他事業所や保育所等、関係機関との情報連携、相談援助を行います。	職員の質の向上	事業所内での職域別勉強会、ケース検討会を実施する。 また、事業所として外部機関の研修の参加や資格取得を促し、職員の質向上を図っています。
主な行事等		なし		

(別添資料1)

事業所名

一般社団アクティビティいわて アクティブキッズ2
(居宅訪問型児童発達支援)

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和 7 年

3 月

17 日

法人（事業所）理念		利用児の状態に合わせて、遊びや運動、社会的な体験や交流を促す。		
支援方針		利用児の身体やこころの発達、成長を促し、主体性、社会性、社会適応力、コミュニケーション力が高まるように支援する。		
営業時間		8:30～17:15	送迎実施の有無	あり (なし)
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	利用児の心身の状態を確認し、基本的な生活習慣が獲得できるように援助を行います。 また、家庭内での利用児の特性に応じた時間や空間を検討し、様々な遊びを通じた学びが促進されるように環境を整えて支援します。		
	運動・感覚	運動機能（体幹、上下肢、口）、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な身体感覚・感触に触れ、運動・感覚の成長を支援します。		
	認知・行動	利用児の認知特性を理解し、家庭の中での環境設定を行い、適切な認知と行動の習得（感覚の活用、状況把握・理解、概念の形成等）に向けて支援をします。		
	言語 コミュニケーション	言葉を聴いて理解し考える力・表現する力等の基礎的な言語能力や他者とのやり取りを通じたコミュニケーション能力を獲得できるように支援します。		
	人間関係 社会性	他者との安定した関わりの形成、遊びを通じた社会性（順番、ルール等）の発達、行動調整にアプローチすることで、仲間づくりや集団への参加に必要なスキルを身につけられるように支援します。		
家族支援		養育に関する困りごとに対して相談援助を行い、利用者の発達上のニーズを踏まえて支援します。	移行支援	将来の具体的な移行を見据えたアセスメントを行い、進路や移行先の選択についての情報連携、相談援助を行います。
地域支援・地域連携		利用児に応じた関係機関との情報連携、相談援助を行います。	職員の質の向上	事業所内での職域別勉強会、ケース検討会を実施する。 また、事業所として外部機関の研修の参加や資格取得を促し、職員の質向上を図っています。
主な行事等		なし		